

社会司牧通信



202502

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

★2025年「第33回世界病者の日」教皇メッセージ（2025.2.11）



★～阪神・淡路大震災30周年を迎えてカトリック教会の支援を考える

～

ボランティア元年と言われた阪神大震災から30年。大規模な自然災害と向き合うようになり、カトリック教会の災害に対する支援も活発になってきています。中央協復興支援室のERST（緊急対応支援チーム）が、神戸高取教会の神田裕神父様と当時の活動から、これからのカトリック教会の災害支援のあり方についての対談になります。

★能登半島地震より1年が経ちました。広島教区では2/1～4/18まで、2回目の復興支援の募金（名古屋教区宛）を小教区取りまとめで呼びかけられています。ご協力よろしくお祈りします。

名古屋教区カリタスのとサポートセンターの情報は⇒ [のとせんブログ](#)



★お知らせ | Nuclear-Free World Foundation 核なき世界基金



2025年1/25(土)に行われた核なき世界基金イベントがYouTube配信されています。ノーベル平和賞現地授賞式の様子や、核なき世界基金の今後の方針についてのお話がありました。

★平和アピール 1981 山口島根地区 2/15 広島地区 2/23・25 岡山鳥取地区 2/23

平和アピール1981
一聖ヨハネ・パウロ2世教皇来日記念平和行事—
祝ノーベル平和賞 ノーモア核兵器 核使用！
～あなたの痛みと平和への想いを、学び伝えさせてください！～

日時 2025年2月15日（土） 10:30～15:30
場所 カトリック岩国教会（岩国市砂山町2丁目9-19）
講師 日本総団協代表理事 広島7団体事務局長 田中 聡司 先生

タイムスケジュール
10:00～受付
10:30～開会
10:35～講話・質疑応答
12:00～昼食・休憩
13:00～聖なるお祈りで分かち合い
14:15～全体会・ミサ
15:30～閉会



お願い
※聖餐は各自準備下さい。
※聖餐お皿に限りがございますので、できるだけ乗り合わせてお越し下さい。
※参加人数を各教会でとりまとめて、2月5日（水）までに、下記の連絡先まで、メールにてお知らせください。

Eメール連絡先 shippo-tarezo158@ezeeb.ne.jp 事務局 大曲 信介

平和アピール1981
ヨハネ・パウロ二世
来日記念行事

2/23 2025 SUN
ミサ 9:30 世界平和記念聖堂
司式：李聖一神父
講話 11:00～12:15
ラサール会館 2F ホール
「被爆二世として思うこと」
「for you 人のために」

2/25/TUE 映画 12:15～13:30
ミサ 10:00～11:30 聖母教会地下聖堂
司式：斎藤真仁神父・伊藤正広神父
ミサ後 聖ヨハネ・パウロ二世御祈り
お話し：斎藤真仁神父
祈りの集い 16:30～17:00 平和公園聖堂御祈り
被爆60年を記念して高校生とともに祈る

李聖一神父
1925年3月4日 高島県高島町中野にて生誕
12月25日 広島平和記念館にて受洗
1972年3月 広島県立広島高等学校卒業
広島大学文学部哲学科
1975年3月15日 司牧長となる
1985年3月15日 司牧長
1988年3月 広島大学神学研究所修士課程修了
1989年～1999年 司牧長
1999年～2010年 広島大学（2003年～2010年）教員
2006年～2012年 広島県 建設部長官補佐
2011年～2016年 聖文学院
2016年～2020年 広島大学（広島大学総合教育推進部長
カトリック・イエズスセンター長）

住居：広島地区 正義と平和推進チーム
問合せ：peace1981022@yhoou.jp

教皇来広 1981&2019 平和アピール新念行事 2024 玉島
記念講演「主キリストと同じ夢を見る」



～ふたりのババ様は広島でなにを見たのか～
グローバルに問う
講師：松浦啓司 司教（カトリック広島教区）

開催日時：2月23日（日）
10:00 ミサ（松浦司教司式）
11:30～13:00 講演会
13:15～14:30 昼食＆懇話会
（飲み物と弁当は各自でご用意ください）

参加費：無料（カンパ歓迎）
会場：カトリック玉島教会
〒713-8122 広島市玉島中央町1-4-20
主催：カトリック岡山山崎地区正義と平和推進チーム
共催：カトリック広島教区
※ お問い合わせ：電話：099-8358-2741

★「ラウドアート・シ」デスク 長束黙想会の報告

[ラウドアート・シ デスク - カトリック広島司教区「平和の使徒推進本部」](#)

⑤黙想会 2/1～2/3 長束黙想会 【黙想会報告】よりご覧ください。



『私たちはどんな入り口に立っているのだろう どちらの道を選んで生きていくのだろう』

ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)



2月1日から3日まで、安芸長束のイエズス会の黙想の家を舞台に、ついにラウダート・シをテーマにした黙想会をすることができました。周防大島で三回行った黙想会は大切な準備となりました。周防大島で祈りの家を管理されているYさんが、「ついにここまで来ましたね」と声をかけてくださり、感慨深かったです。

その内容に関しては、他の報告に譲るとして、私は自分が担当した“祈りの導き”についてお話ししたいと思います。周防大島では、私がフランスで出会った『エコロジカルな回心のための霊的な旅路』を直接祈りのテキストとして使ったのですが、今回の長束での黙想は、自分なりにアレンジする形で行いました。8章に分かれた旅路をも四回の祈りの導きで一通りなぞるためと、私自身が1年間準備する中で、私たちの文脈に置き換える必要性を感じたからです。

自然の中に入り、自分たちがいつくしみによって作られた被造物の一部であり、他の被造物と兄弟姉妹であるのだという感覚を深めます。「耕し、守りなさい」という責任を与えられたのに、私たちは傲慢になり、本来は自然を豊かにせねばならぬのに環境を破壊する方向へと進んできてしまいました。私自身の中にある罪と、この社会の罪の構造を、『見よ、それはきわめてよかった』の日本社会のエコロジーの問題について書かれている部分を参考にしながら、見つめていきます。そして今、自分たちがどちらの道を選んでいくのだろう、と岐路の前に立っている自分に向き合うのです。

今回の準備の中でとても参考になった本がありました。植物学者であり、北アメリカ先住民である、科学と詩の世界を統合する知恵の持ち主であるロビン・ウォール・キマラーは、その著書『植物と叡智の守り人』中で、私たち人類は、今未曾有の岐路に立たされていると述べています。緑の道を選ぶのか、それとも舗装されて、最初はなめらかなに見えるが、遠くの方は霞がかかって見えない、視界から消えるとすぐに暑さで歪んで崩れたギザギザした破片になってしまう道を選ぶのかの岐路にいるのだと言います。

「緑の道」という言葉がずっと私の中で響いています。今、私たちはどんな入り口に立っているのでしょうか。それは、裸足で歩けるようなやわらかな道でしょうか。土の匂いのする、雨が降れば泥になってしまうけれど、自然と共に歩く道でしょうか。私たちは、日々の選びの中で、この感覚を持っていくことが大事なのだと思います。ある参加者が面接の中で言ってくれました。「識別」という言葉を聞くと、難しく感じるけれど、この黙想の中で、緑の道を選んでいこうという流れの中で具体的に識別を体験することができた、と。

毎日の生活の中でのささやかな選び、あるいは仲間たちと共に選んでいく道が、緑の道であるように生きていきたいと思います。その入り口を通り抜ける時に不安もあるかもしれないけれど、何より主が共にいるという信頼の心を深めていきたいと思います。

★カトリック広島教区 セクシャル・ハラスメント相談窓口 ★

広島教区子どもと女性の人権擁護デスク

受付時間 木曜日(祝日を除く) 9:00~16:00 電話番号 080-9795-3676

メール: desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・SocialH・Social***H・Social***H・Social***H・Social***H・Social***

『ともに歩むあたたかさのある教会をめざそう~あたたかさの源泉に立ち返る(典礼活動)』

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL: 082-221-6613 FAX: 082-221-6019

ホームページ <https://www.social-desk.net/> E-Mail info@social-desk.net